

# ほうじん報告書

## 第16号 2013年5月

特定非営利活動法人こころ

URL <http://www.hcc-kokoro.jp/>

ハートケアセンターこころ・こむぎ・相談室こころ  
〒428-0007 島田市島 581 番地の 14  
Tel 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

- ・りなむ : 島田市金谷本町 2173 番地の 2  
Tel・FAX 0547-46-1687
- ・さがら作業所 : 牧之原市福岡 157 番地 1  
Tel・FAX 0548-52-7447
- ・地活はぐるま : 牧之原市勝俣 1926 番地 1  
Tel・FAX 0548-22-5529

### 「新さがら作業所」建設に向け前進の活動を

この近年、福祉に関する制度も社会の関心も大きく変化が見られます。障害者自立支援法から総合支援法へ。成年後見制度による被後見人に選挙権の一律付与の方向へ。私どもの『こころ』も昨年度からは牧之原市内の2事業所と一緒に活動を展開しているところです。また利用されている方々もグッと明るく、WRAP（元気回復行動プラン）学習会などは、予定時間よりかなり早く集いワイワイと盛り上がりしております。やはり時代も社会も変化・前進しつつあることを実感します。

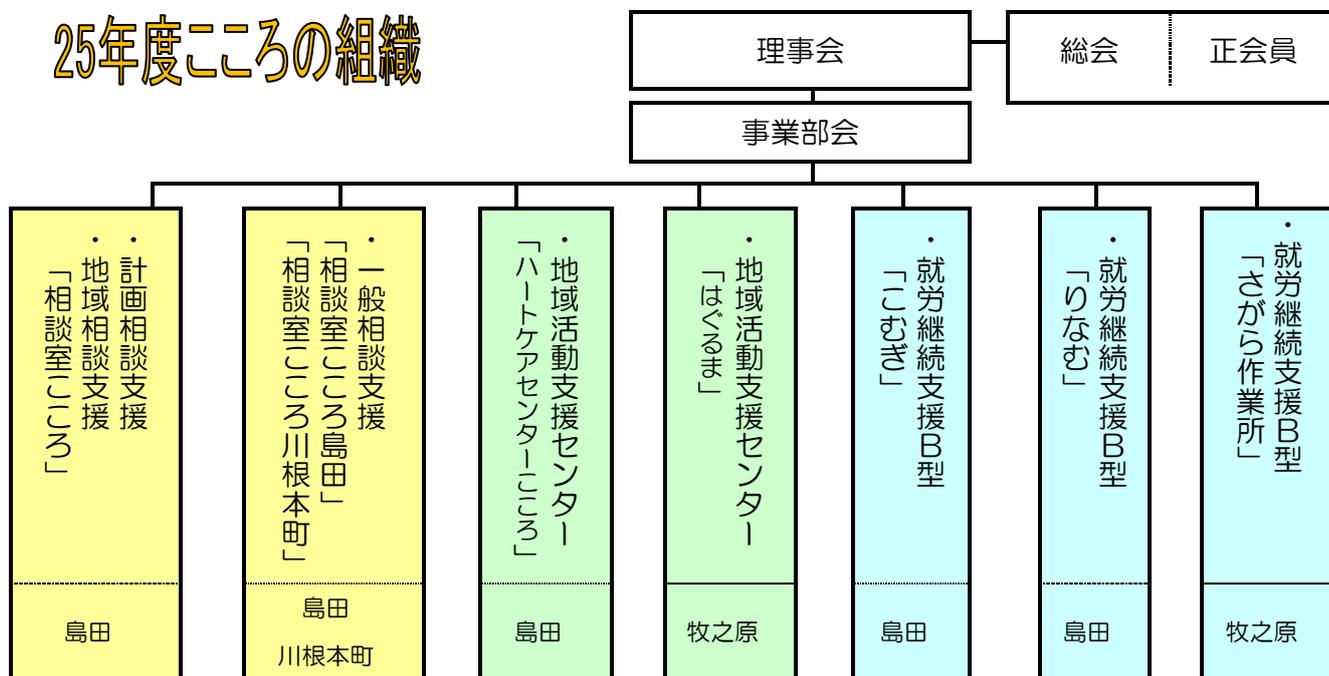
さて当法人の今年度（平成 25 年度）事業も、大きな展開を予定しているところです。

今年度の重点目標として次の 4 点を掲げました。

- ①さがら作業所の耐震対策推進と充実（新作業所建設推進、サテライトの開設）
- ②相談支援事業体制の確立（計画相談・地域相談の推進、関係市町の相談支援の推進）
- ③利用者主体による活動の支援強化（WRAP 活動の推進支援、いいことしよう活動の支援）
- ④地域との交流による活動強化（福祉セミナーの開催、地域活動支援センターのサテライト設置）

これらどの課題も具体化・推進化を図りたいと思っております。中でも『新さがら作業所』建設は実に大きな課題であり、今の時代は災害防止・耐震問題は避けられない問題であります。この事業は単年で済むものではなく、本年度からがスタートです。当法人の自助努力は当然ですが、行政当局を始め多くの皆様のお力をお借りしなければ実現できません。利用者の皆さんにとって安心のある新施設建設に向け頑張ってお参ります。ご支援のほどお願い申し上げます。理事長 山城厚生

### 25年度こころの組織



## 「協働」をめざして

「協働」という言葉があります。一般的には「共同」の方が馴染みがあるかもしれませんが。しかし、私たちの実践は「共同」ではなく「協働」です。このことを語ろうとする時、あるエピソードを思い出します。それは、昨年からメンバー自身の運営により本格的に始まったWRAP（＝元気回復行動プラン）の打ち合わせの際、メンバーから「自分たちもWRAPをどう運営するかを主体的に考える。スタッフもスタッフとして（主体的に運営している）WRAPをどう活用していくかを主体的に考えてほしい。」という言葉が投げかけられました。つまり、「協働」とは、共に主体であるそれぞれが主体としてかわりあって歩いていく過程を意味します。「利用者主体」「本人主体」ということばがよく聞かれます。その時に一方だけに「主体」をみるとしたら、そこには「かわり」が存在せず、結果的には乖離した関係の中で支援者側が考えたルールに乗せてしまうことになります。だからこそ「協働」が大切なのです。こころの実践がより深化していくキーワードです！！そんな1年が始まりました。（施設長 菅原小夜子）

## 各事業報告：平成24年度の報告

### 1. 相談室こころ(相談支援事業)

平成24年度も引き続き島田市、川根本町より委託を受け相談支援事業を実施してきました。島田市については市役所を拠点とした相談窓口へ1名の相談支援専門員の派遣が2年を経過し、市役所での相談が大分定着をしてきました。しかし、相談支援以外の活動については、市との取り組みが十分とは言えず今年度の課題として引き継がれました。

また、昨年度より開始された計画相談については、この1年間は協議に費やされ、実際の実施にまでは至りませんでした。すでにサービスを利用されている方へのサービス等利用計画の作成は平成26年度までとなっているため、本来の相談支援の視点から外れないよう、より効率的に進めていく必要があります。また、計画相談は給付サービスであるため、他市町のニーズにも多少なりとも答えていきたいと思っています。

地域相談については、地域移行支援事業時代からの課題でもあった対象となる人が上がってこないが続いています。しかし、給付サービスである地域相談が全入院者の耳に届いていない現状は否めません。情報が届かないこと自体「人権侵害」にあたることと認識をし、改めて地域相談への取り組みを積極的に行っていきたいと思っています。（菅原小夜子）

### 2. 地域活動支援センター事業

#### 1)ハートケアセンターこころ（島田市補助事業）：基礎事業＋機能強化Ⅰ型

昨年度後半より医療機関や行政等からの紹介が増え、新規登録者が少しずつ増えてきています。

また、月1回開催されるWRAPや実行委員会形式で企画、実施される様々なイベントやプログラム、部長を置いてのクラブ活動等、メンバーが中心となった活動が徐々に活発化してきています。今年度は、地域活動支援センターとして初めての試みとして「小旅行」が企画されています。これも、月1回開催される「こころを語ろう会」でメンバーからの提案により決定され、現在実行委員会が企画を練っています。このように、「ピア活動」に重点を置いた活動を展開していきたいと思っています。（菅原小夜子）



福祉大会廃キャップ寄贈



小国神社小旅行

## 2)地域活動支援センターはぐるま（牧之原市補助事業）：基礎事業＋機能強化Ⅱ型

当法人の運営2年目を迎え、以前からの作業所としての雰囲気「自分のペースに合わせて利用できる場所」として、自由でのんびりとした雰囲気になりつつあります。利用者数も今年度に入り増加傾向にあり、新しいメンバーも少しずつ登録されてきています。

また、同じ法人同士の地域活動支援センターとして積極的に交流が行われ、一事業所では取り組めなかったことが互いに協力し合いながら実現できています。今年度は、一部をさがら作業所のサテライトとして開所し、よりその人の暮らしぶりに合った過ごし方を工夫できる場を提供していきたいと考えています。（菅原小夜子）



ぼたん鍋



川崎小学校よりの寄贈式

## 3. 就労支援事業

### 1)いなむ（就労継続B型事業）

平成24年度就労移行支援事業は就職を目指した課題を意識しながらの毎日の作業でした。支援計画にそって職場実習に挑戦し、現実の厳しさを痛感しながらも3人のメンバーが就職することができました。

「コミュニケーションに対する自信」や「働く意欲」は事業所が地域の中にあることが大きく効力を発揮したと思います。

3ヶ月ごとの面談は、どのメンバーさんも成長に気づく振り返りとなり、日々の積み重ねの大切さを実感しながら、また新たな目標を持って作業に取り組むことができました。

就労継続B型事業では「自分らしい日々の送り方」を基本に社会の一員としてそれぞれの就労の形にて充実した毎日を送ることができました。「できない」と諦めていたことが「できるようなる」という喜びが自信につながっていく場面を何度も見るすることができました。

事業内容としてはパンの製造販売、化粧石けんの製造販売、工場での施設外就労、軽作業、そして従来の金谷南地域交流センター内の「カフェ・みれっと」での経験を生かし、島田駅前通りこども館内に「カフェ・きいちご」が開店しました。

みかんはちみつ石けんが自主製品コンクールで受賞したことや、「食品は美味しいものを」という製品の質の高さがメンバーの誇りとなっています。

平成25年度は多機能型から就労継続B型のみの事業となります。

「働く」ということは簡単なことではないけれど、それぞれが自分なりに満足できる一日だったと思えるような作業の提供と、メンバーそれぞれの「希望」を支援できる事業所でありたいと思います。また、いつも地域の皆さんに温かく見守られ、応援をいただいていることに感謝し、「いなむ」が地域の優しさの源泉となれるように笑顔いっぱい的一年にしたいと思います。（柳川久子）



りなむの花



ドリーム島田販売



年末お疲れさん会

### 2)こむぎ（就労継続B型事業）

24年度の「こむぎ」は、多機能型から独立して定員20名の就労継続B型事業所として新たにスタートし登録者数26名、延べ利用者数も、2,322人を数えました。

新規作業も増え、年度末には、初めてボーナスも支給することができました。とはいえ、他事業所と比べると工賃はまだ低いのが現状です。

一日の利用人数は決して多くはないのですが、一人ひとりの頑張りが作業量と作業収入アップにつながったと思います。また、「就職したい」と願う人も多く、その希望に向けて、障害者職業センターや訓練校を利用して頑張っている方もいます。

これからもひとりひとりの「思い」に寄り添い、一緒に取り組んでいきたいと思います。25年度の目標は、1. 利用率のアップ、2. 作業効率のアップ、3. 工賃アップです。(渡邊里佳)



事業所見学



ウッドピンチ作り

### 3) さがら作業所 (就労継続B型事業)

24年度の目標であった作業所の耐震対策について、皆様のお力添えにより、大きな一歩を踏み出すことができたことを利用者、職員ともにとっても喜んでおります。耐震問題に加え利用者数の増加もあり、広くて安全な建物に移転することが今の大きな目標です。

24年度は、定員20名に対し登録者数30名、延べ利用者数も、4,685人を数えました。それに合わせて、作業量や種類も増やしてきました。多くの利用者さん一人ひとりのニーズにあった支援ができていたのか検証し、身を引き締めて25年度をスタートさせたところです。25年度は、B型を利用したいと言う方々のニーズに応える為に、さがら作業所の定員を30名に変更し、はぐるま内に定員10名の従たる事業所を設置して、合計40名定員の事業所となります。利用者さんが増えても今までのかわりを大切にして、一人ひとりが役割をもち、自信を持って作業に励むことができる、そして、その自信が地域で生きている生活者としての自信に繋がっていくことを目指していきたいと思います。(高塚むつ代)



名古屋旅行



電線の皮むき作業

## WRAP (ラップ) の活動

### 1. WRAP (ラップ) とは、

Wellness Recovery Action Plan の略で、精神的困難を経験した米国のメアリー・エレン・コーブランドさんを中心に考案された、自分自身が元気であるために、自ら作る行動プランです。日本語では「元気回復行動プラン」といいます。

### 2. 「CoCoWRAP (ココラップ)」の活動状況と展望

23年11月のWRAP紹介クラスを皮切りに24年3月～25年5月の間で15回のWRAP連続クラスを開催し、50人を超える方々に参加を頂き、WRAPについての「学び」を深めて頂きました。



CoCoWRAP のロゴ

メーリングリストや参加者の「ネットワーク」を通じて東京・横浜・名古屋からも参加して下さいました。連続クラスは、1クール修了しましたが参加者の強い要望により第2クールを実施することとなりました。ファシリテーター(進行役)の養成も含め志太榛原地区への普及・啓発、静岡県内への普及・啓発も視野に入れていきます。

### 3. WRAPクラス参加者の感想

- ① 真っ暗な部屋から脱出して明るい希望の感覚が持てた。
- ② 友達が増えた。
- ③ マイナス思考からプラス思考の考え方が持てた。
- ④ 就職活動する意欲が出てきた。
- ⑤ 人前で話すことが出来るようになった等、希望の光のようなものが感じられるようです。

(松永静男)

## 平成24年度の事業報告

事業名	事業所	内容	実施日等	延べ人数 延べ回数	備考	
相談支援事業	ハートアップセンター こころ	給付事業	計画相談	随時	7人	指定特定相談
			地域移行・地域定着	随時	5人	指定一般相談
	(25年度より相談室 こころに変更)	島田市委託事業	個別相談	週5日	1,982人	一般相談
			連絡調整、協議会等 家族会（親愛会）	随時 月1回	78回 8回	
地域活動支援事業	ハートアップセンター こころ	創作活動及び生産活動の提供	随時	199人	創作活動・就労相談等	
		社会との交流の促進業務	週5日	5,571人	相談・サロン活動・クラブ等	
	地域活動支援センターはぐるま	日常生活に必要な便宜を提供する	週5日	1,309人	ランチ作り・日常生活学習等	
		医療・福祉等との連携強化	随時	1,564人	行政・医療等との連絡・調整	
就労移行支援事業	りなむ	地域ボランティア育成	随時	65人	ボランティア講座・活動支援等	
		啓発普及等の事業に関する業務	随時	863人	家族茶話会支援・通信発行等	
就労継続支援B型事業	こむぎ	当事者活動支援	月1回	52人	WRAP活動支援	
		創作活動及び生産活動の提供	週5日	890人	創作活動・下請け作業等	
就労継続支援B型事業	りなむ	社会との交流の促進業務	週5日	3,175人	相談・サロン活動・地域交流等	
		日常生活に必要な便宜を提供する	随時	1,384人	日常生活学習・調理実習等	
		自主活動の育成	随時	493人	地域イベント参加	
就労継続支援B型事業	さがら作業所	石鹸作り、喫茶店での接客、下請け作業、施設外就労、施設外支援、連絡調整会議、ケア会議等	週5日	1,245人	定員10人（登録者7人）	
		自主製品制作・販売、下請け作業、廃品回収、草取り、ケア会議等	週5日	2,322人	定員20人（登録者26人）	
		パンの製造販売、下請け作業、施設外支援、ケア会議等		749人	定員10人（登録者4人）	
普及啓発及び教育事業	法人事業	自主製品制作・販売、下請け作業、廃品回収、喫茶店での接客等		4,685人	定員20人（登録者30人）	
		夏祭り	8/25日	参加 250人		
		もちつき大会	12/15日	参加 190人		
		セミナー（ゲートキーパー）	11/28日	参加 69人		
		セミナー＋いいこと発表会	1/26日	参加 164人		
		広報誌発行（こころ・法人通信）	14回	14回		
		スタッフ研修	16回	231人		
学生実習受入れ	64日	64人	(実習生5人)			
目的推進事業		給付事業・委託事業外の相談支援	随時	52人		
		メンタルヘルス事業	6回	500人		

- 法人全体
1. 地震対策のためさがら作業所移転先として牧之原市菅ヶ谷に土地を購入しました。
  2. 島田市本通おびりあ4階こども館内にカフェ・きいちごを出張所として開所しました。

## 25年1月～5月の主なイベント報告

2013 ころと福祉のセミナー

3月23日(土)夢づくり会館にて各事業所のメンバーによるいいこと発表会(この1年で各事業所が「何かいいことをしよう」と取り組んできたことの発表)とNPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ理事の高森信子氏を招いての講演会を行いました。いいこと発表会では、各事業所のメンバーがパワーポイントや映像を使って1年間やってきたことについての発表をしました。どの事業所も地域や社会の役に立っているいいことで会場からは拍手喝采でした。また1年間の敬意を称え理事長・施設長から各事業所に表彰もありました。



いいこと発表会

## 25年度の主なイベント予定

詳細は後日、ころ通信、ホームページ等に掲載します。

行 事 名	開催予定日	開催予定場所	参 加 者
夏祭り	8月17日	ハートピア-ころ	一般
法人内交流会	11月15日	牧之原市海浜体育館	ころ登録者
もちつき大会	12月7日	ハートピア-ころ	一般
法人設立10周年記念大会	2月8日	夢づくり会館	一般

## 助成ありがとうございました。平成25年1月～5月分

- ※ イーパーツ : リユース: パソコン×3台
- ※ 愛の都市訪問(静岡新聞・静岡放送) : はぐるま: エアコン×1台
- ※ 共同募金会 : りなむ: エアコン×1台



はぐるまの寄贈エアコン

## ご寄付ありがとうございました。平成25年1月～5月分

順不同・敬称略

大崎初枝	杉浦寛次	石田孜郎	相良地区協議会
神田均	羽深 剛	大塚昭代	島田法人会青年部
泰善寺	川崎小学校	ふるさと愛好会	マルハン島田店
地頭方区	稲葉桃子	新庄女性の会	寺田製作所
八木かよ子	松井妙子	金山町町内会	

## 賛助金ありがとうございました。平成25年1月～5月分

順不同・敬称略

大石勇	中川正彦	河原崎孝	(株)力ネス製茶
桑原孝次	牧野高彦	中村真理子	

## 寄付と外注作業紹介のお願い

- 1) 石鹸、洗剤、タオルなどの日用消耗品と調味料・食材の寄付
- 2) 夏祭り・もちつき大会のバザーで販売する品物の寄付
- 3) 就労継続支援B型事業で安定して継続できる仕事の紹介
  - ・草取り作業、袋つめ作業、シール貼り作業、部品組立てなどの軽作業
- 4) アルミ缶・古紙(ダンボール、新聞紙、雑誌、雑紙)の回収